

隣保館だより

2025年7月
発行 新発田市隣保館
住吉町2丁目3-28
TEL/FAX 26-5984



地域のお茶の間『福祉講座』

6月3日、町内会の皆さんと地域包括による認知症サポート講座を行いました。地域のみまもりをどのように取り組んだらいいかを話し合いました。「日頃からの声かけが大切だ」と話していました。



「寄せ植え教室」

5月29日、新発田農業高校の高校生が育てた花で『寄せ植えを体験』をしました。地域の町内会や隣保館利用者のみなさんが参加して、生徒から、植え方や育て方を教えてもらいました。天気も良く、外での活動は最高でした！



夏だ！

夏休み子ども向け教室

○夏休み体験教室

7月26日(土)10:00～
工作やおまつり広場、理科教室
など楽しいことがたくさんできるよ！

○夏休み小学生学習教室

7月28日(月)、29日(火)、30日(水)、8月4日(月)、5日(火)
の5日間(都合のいい日を選べます)
時間 9:00～10:30
定員 10名程度
※申し込みは7月20日(日)

みんなに勉強のサポートをしていただく先生を紹介します！



住吉小学校
つちだ おさむ先生



七葉小学校
あまい こうや先生



猿橋中学校
たなか よしゆき先生

勉強も遊びも！よろしくお願いします！

隣保館へ行こう！



隣保館「熱中症予防」 声かけプロジェクト

隣保館では、夏休み期間中館内を自由に利用できます。小・中学生・高校生が静かに読書や勉強などに利用してみませんか。また、大人の休憩場所としても開放いたします。

開放期間

7月25日(金)～8月31日(日)

時間 9:00～16:00



みとめあおう それぞれのちがい さがしあおう みんなのよさ

(令和6年度人権啓発入賞作品
住吉小学校 6年 工藤 誠 さん)



知ってほしい！人権を守る3つの法律

障害者差別解消法

障害のある人もない人も互いにその人らしさを認め合いながら共に生きる社会になるために
・「不当な差別的取扱い」の禁止 ・合理的配慮の提供
(※) 障害のある人から、社会の中にある障壁（バリア）を取り除くために対応を求められた際に、過度な負担にならない範囲で対応すること。

ヘイトスピーチ解消法

日本に住む内閣府や外国にルーツがある人たちの不当な差別的言動をなくするために
・特定の人種や民族、宗教への差別を助長する言動（ヘイトスピーチ）の禁止・解消

部落差別解消推進法

部落差別のない社会を実現するために
・国として初めて「部落差別」の存在を認めた
・部落差別の解消に関する施策の実施、相談体制の充実が求められている重大な人権侵害です。

この他にも良いところ・気になるところを身近な人と話し合ってみよう！

【知ってほしい！人権を守る法律】

○障害者差別解消法

障がいのある人もない人も互いにその人らしさを認め合いながら共に生きる社会になるために

- ・「不当な差別的取扱い」の禁止 ・合理的配慮
(※) 障がいのある人から、社会の中にある障壁（バリア）を取り除くために対応を求められた際に、過度な負担にならない範囲で対応すること。

○部落差別解消推進法

- 部落差別のない社会を実現するために
- ・国として初めて「部落差別」の存在を認めた
- ・部落差別の解消に関する施策の実施、相談体制の充実が求められている重大な人権侵害です。

インターネットでの誹謗中傷は重大な人権侵害です

守ろう個人情報！防ごう身元調査！～「本人通知制度」に登録を！～

全国各地で戸籍謄本や住民票などを不正に取得し身元調査を行うといった事件が起きています。本人通知制度への登録が広がることで、不正取得を抑制し、権利侵害の防止につながります。市では、あなたやあなたの大切な人の個人情報を守るために、住民票の写しや戸籍謄本などを第三者に交付したとき、事前に登録した人に、交付したことを通知する「本人通知制度」を実施しています。

本人通知制度に登録をお願いします。 登録は市民生活課窓口へ

自分がしていること（「正義」について）を問い直す

～朝ドラ「あんぱん」の視聴から～

新発田市同和教育推進協議会会長 坂井 智



朝ドラには縁がない（忙しくて見る暇などない）方には恐縮ですが、退職してから朝ドラ視聴が日々の楽しみの一つになりました。そういえば、夏休みに隣保館で研修のお手伝いをしているときには、朝ドラが扱っている人権問題のことがよく話題となりました。

今年の朝ドラは「あんぱん」です。ご存じの方が多いことと思いますが、このドラマは、アンパンマンの作者やなせたかしさんと妻の暢さんをモデルにした作品です。本原稿を依頼された翌日（6月17日）の放送は、美術学校在学中に徴兵された嵩（北村匠海）たち兵隊が飢えに苦しみ食べ物を探して野山を歩き回る場面でした。一軒の民家を見付けると、兵隊たちは家の中に入り食べ物を要求します。この家の女性が、前に来た兵隊たちがみんな持って行って食べ物は何もないと話すと、一人の兵隊が女性に銃口を向けて何かあるだろうと詰め寄ります。すると、女性は落ち着いた様子で、今朝二ワトリが産んだものだと言って奥から卵を取り出します。兵隊がそれをつかもうとすると女性は制止し、その卵が茹で上がるまで待たせます。出来上がったゆで卵を貪る兵隊たちを見ながら、女性は一言だけ言い放つのです。「空腹は人を変えてしまう。」これを聞き、私はハッとしました。

戦争の大義はどのようなものであっても、一旦戦いが始まると人々は変わって（人間性を失って）しまう。しかし、その厳しい状況にあっても自らの大切なものを惜しげもなく与える人がある。兵士に茹で卵を差し出した女性は、銃で脅されたから卵を渡したような描かれ方ではありません。空腹で生死をさまよう兵士のために何もせずにはいられないとの思いで渡していたように見えました。その姿を、私は自分の顔（あんぱん）を人に与えるアンパンマンに重ね合わせたのです。私は、ここにやなせたかしの「正義」についてのメッセージが描かれているように思えたのです。



実際、やなせたかしさんは、著書「わたしが正義について語るなら」のなかで、次のように書いています。

正義はある日突然逆転する。逆転しない正義は献身と愛です。それは言葉としては難しいかもしれないけれど、例えばもしも目の前で飢えている人がいれば一切れのパンを差し出すこと。それは戦争から戻った後、ぼくの基本的な考えの中心になりました。

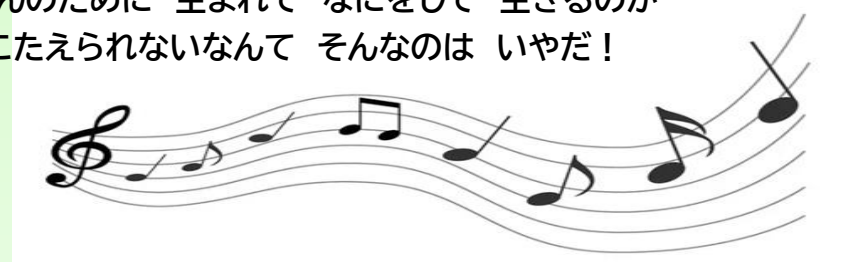
「献身と愛」の言葉を聞くと、私自身何ができるか心もとなくなります。そんな私に、やなせたかしさんは、「身近な人の幸せを願う」と題して、「一人が十人くらい助ければ、自分の周囲だけでもというふうにすれば、そういう人が増えればいいのだと思います」と述べてくれています。



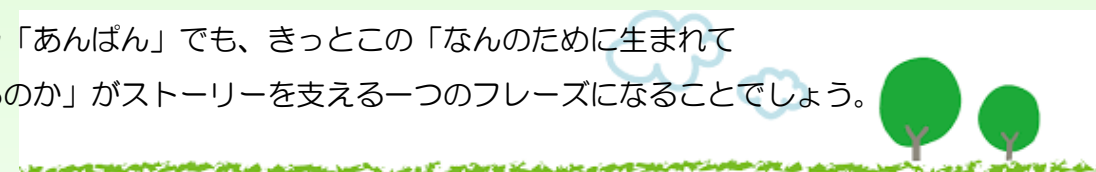
かつて教員だった私は、退職後「新発田日本語教室」で日本語を学びたい外国人に対する日本語学習のお手伝いをしています。新発田市には、住民票が作成されている外国の方が1,000人近く居住しています。自分自身が行っていることの意味や在り方を、改めて問い直したいと思っています。そのときにやなせたかしさんの次の言葉が私にとっての指針です。「アンパンマンマーチ」の冒頭部分です。学校に勤務していたときに、子どもたちと、よくこの歌と一緒に歌ったことを思い出しました。



そうだ うれしいんだ 生きる よろこび たとえ 胸の傷がいたんでも
なんのために 生まれて なにをして 生きるのか
こたえられないなんて そんなのは いやだ！



これからの朝ドラ「あんぱん」でも、きっとこの「なんのために生まれて
なにをして生きるのか」がストーリーを支える一つのフレーズになることでしょう。



2025 年度「新潟水俣病」作文コンクール 受賞者を発表

公害や環境問題に関心を持ってもらおうと、新潟水俣病の被害者団体が県内の小中学生を対象に行っている作文コンクールの受賞者が発表されました。このコンクールは新潟水俣病の被害者団体が県内の小中学生を対象に毎年行っていてことしは260人余りの応募の中から新発田市立住吉小学校の6年生土佐林笑鈴さん・井上樹さんが優秀賞を受賞しました。



土佐林さんは、新潟水俣病の被害者への差別や偏見について「被害者が症状だけでなく、差別や偏見にも苦しめられていることを知って怒りや悲しみを感じた。それぞれの個性や多様性を尊重すれば差別は減るのではないか」「水俣病で苦しんでいる人たちのつらい経験をむだにしてはいけないと思いながら作文を書きました」と話していました。

また、同じく優秀賞を受賞した井上樹さんは新潟水俣病が発生したいきさつなどをまとめた上で、「私たちにできることは水俣病患者の思いを理解し、支えになることではないか」などと書きました。「患者のつらい思いを理解して誰もが生きやすい世界になってほしいです」と話していました。

NHK NEWS WEBから掲載

